



いわみ

議会だより

No.124

平成27年7月31日発行



6月定例会

- 2 道の駅 きなんせ岩美スタート
- 4 一般質問 4議員が町政を質す^{ただ}
- 8 岩美高校の魅力アップを期待
コーディネーター2名を3年間配置

合同海水浴場開きが7月10日、東浜で行われ
岩美北小の児童が初泳ぎをしました。

道の駅 きなんせ岩美スタート



オープニングセールでにぎわう（7月20日）

6月定例会を、6月9日から11日までの3日の会期で開きました。
今議会に町長から提案された一般会計補正予算など5議案はすべて原案どおり可決しました。
また、議員から提案された意見書2件を可決し、1件を否決しました。

主な議案の概要

道の駅関係議案

一般会計補正予算

道の駅きなんせ岩美の設置及び管理に関する条例の設定

5325万円を増額して、予算総額を64億8525万円としました。
歳出の主なもの

道の駅きなんせ岩美を町の施設として管理する。

道の駅きなんせ岩美の指定管理者の指定

日露友好事業実行委員会補助金 20万円
露国将兵慰霊祭に経費助成。

指定管理者

（株）いわみ道の駅
期間 27年7月1日から32年3月31日

園芸産地活力増進事業費 292万円
野菜、花きなどの生産体制づくり、道の駅きなんせ岩美での販売を目的とした産物の育成に必要な経費を助成。

代替バスの設置及び管理に関する条例の一部改正

バス停の名称の変更
「トスクいわみ店」

←「道の駅きなんせ岩美」

情報通信施設管理運営事業費 589万円
岩美道路・浦富インターチェンジ付近の光ケーブルの移設工事費。

コミュニティ助成事業費 140万円
太田集落の小型除雪機の購入費用を助成。

地域介護・福祉空間整備事業交付金 3288万円
岩井長者寮が行うスプリンクラー整備の助成。

有害鳥獣駆除事業費 39万円
捕獲従事者を確保するため、狩猟免許の取得、更新などの経費を助成。

東浜海水浴場センター下水道整備事業費 360万円
カフェとして活用している東浜海水浴場センターの下水道管布設経費と排水設備費の助成。

なお、下水道加入負担金はカフェ営業者が負担。

町営清掃工場解体工事の請負契約の締結

請負者 藤原組・田中組
特定建設工事共同企業体
請負代金額 1億7010万円
工事期限 28年3月20日

意見書議案の議論

安全保障関連2法案（国際平和支援法案、平和安全法制整備法案）の今国会での成立に反対する意見書
 （提出者 田中克美議員）

賛成少数で否決

討論

反対意見

柳正敏議員
 あらゆる事態に切れ目のない対応を可能にすることを目的としており、政府が定める3要件により集団的自衛権の行使には、一定の歯止めがかけられている。
 海外での戦闘に自衛隊を派遣するとの指摘は、法案の実態とは全く異なるものだ。

賛成意見

田中克美議員
 日本が国内であれ、海外であれ、地球の裏側であらうと、まだ危険が

迫っていない段階でも、アメリカ軍に協力する法律だ。

杉村宏議員

政策のために憲法解釈を変更することは問題があり、法案を承認することは、国会自体が立憲主義を踏みこむことになる。現憲法で対応できない部分があれば、憲法改正を国民に信を問うべきだ。

第3回臨時会

5月29日開催

26年度一般会計補正予算（専決処分）
 地方交付税1億920万円の増額など予算総額を67億4700万円としました。

国民健康保険税条例の一部改正
 今年度の国保税の税率を決定。

いわみ道の駅（仮称）建設工事の請負変更契約の締結
 請負代金 1294万円増額

27年第3回5月臨時議会提出議案の結果と議員の賛否の状況

提出者	審議結果	議案番号	議案名	寺垣智章	杉村宏	宮本純一	川口耕司	田中伸吾	松井俊明	澤治樹	日出嶋貴代子	芝岡みどり	田中克美	柳正敏	船木祥一
町長	承認	47	平成26年度一般会計補正予算（第8号）の専決処分	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
〃	〃	48	平成26年度訪問看護ステーション特別会計補正予算（第2号）の専決処分	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
〃	〃	49	税条例等の一部改正の専決処分	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
〃	〃	50	国民健康保険税条例の一部改正の専決処分	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
〃	可決	51	国民健康保険税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
〃	〃	52	いわみ道の駅（仮称）建設工事の請負変更契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

27年第4回6月定例会提出議案の結果と議員の賛否の状況

提出者	審議結果	議案番号	議案名	寺垣智章	杉村宏	宮本純一	川口耕司	田中伸吾	松井俊明	澤治樹	日出嶋貴代子	芝岡みどり	田中克美	柳正敏	船木祥一
町長	可決	53	代替バスの設置及び管理に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
〃	〃	54	道の駅きなんせ岩美の設置及び管理に関する条例の設定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
〃	〃	55	道の駅きなんせ岩美の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
〃	〃	56	平成27年度一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
〃	〃	57	町営清掃工場解体工事の請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員	否決	3	安全保障関連2法案（国際平和支援法案、平和安全法制整備法案）の今国会での成立に反対する意見書	×	○	×	×	×	○	退	○	×	○	×	○
〃	可決	4	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2016年度政府予算に係る意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
〃	〃	5	地方財政の充実・強化を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成、×は反対、退は退席、欠は欠席 ※船木議長は本会議の採決に加わらない。

請願・陳情審査結果

件名	結果	賛否の状況	不採択理由
地方自治法124条以下及び国会法第79条以下並びに請願法について、日本国憲法第16条の請願権規定の趣旨に合致する形で改正を求める意見書の提出を求める陳情 提出者：鳥取県倉吉市新田129 足羽 佑太	不採択	全会一致	法改正を求めるまでの差し迫った特段の事情や、意見書を提出する必要性が認められない。
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2016年度政府予算に係る意見書採択の陳情書 提出者：鳥取市大槻町7-1 鳥取県教職員組合東部支部 支部長 棚田 厚 他1名	採択 (意見書提出)	全会一致	
冊子「岩美町英霊名鑑」の作成費用の助成について(陳情) 提出者：岩美町大字長谷753番地 岩美町遺族連合会 会長 井上 宏	採択	全会一致	
地方財政の充実・強化を求める陳情 提出者：鳥取市南町505番地 自治労鳥取県本部 執行委員長 本川 博孝 他1名	採択 (意見書提出)	全会一致	

道の駅での車中泊を歓迎せよ

杉村 宏議員

町内の宿泊施設を利用してほしい

榎本町長



杉村 宏議員

杉村 道の駅の開業に伴い、車中泊を歓迎することを明確にしてはどうか。

町長 道の駅は車中泊を目的にしていない。

町内には宿泊施設がた
くさんある。

そこに誘導するのが行
政の役割だ。

杉村 車中泊ができる場
所などを記載したマップ
を作成し、有料販売とし
て、公衆浴場入浴を特典
として付けてはどうか。

町長 考えていない。

収支が整うことを目標
に、取り組んでいく。

杉村 隣接小売業者との
同種販売品の競合の心配
はないか。

町長 事業がスタートし
た時点とは話が変わって
きた実情があるが、再度
細かく詰めていきたい。



きなんせ岩美駐車場

杉村 アイドリングスト
ップ対策が必要である。

町長 対策は必要だ。

看板など国土交通省と
検討を進めていく。

杉村 排出CO2対策とし
て、有料での引き取りを
検討してはどうか。

町長 道の駅を運営して
いく中で、そうした問題
の再検討や見直しは必要
だと思うが、今は考えて
いない。

杉村 道の駅の3年間の
収支見込みが示されたが、
出資者として妥当である
と判断しているか。

町長 公益的な部分もあ
り事業部分と切り離して
精査するが、赤字を容認
するわけではない。

町民債で海難事故船を支援せよ

杉村 宏議員

国・県の制度で対応したい

榎本町長

杉村 5月21日の海難事
故で漁船が沈没した。

新船の建造には5億円
前後かかるが、リース事
業は終了した。

町民債を発行し町民全
体で支援してはどうか。

町長 国・県の諸制度も
含め行政として支援した
い。

町民債は公共施設を整
えるために、起債の発行
が許されるというのが通
常の判断であり、非常に
困難だ。

杉村 海難事故船舶の船
員の方の、休漁とならざ
るを得ない期間の就業支
援はどうか。

町長 全員が就労就業で
きるように、漁協に責任
を持ってもらって、対応
を進めている。

杉村 陸上養殖事業の進
展や見込みはどうか。

町長 町内の2社は撤退
を表明せざるを得ない状
況になっている。

JR西日本が乗り出し、
県の栽培漁業センターで
養殖の試験に取り組んで
いる。

その他質問事項

イベント周知について

消費者の相談窓口を周知 せよ

芝岡みどり議員

広報紙・岩美町チャンネルを活用する

榎本町長



芝岡みどり議員

総務課長 22年から26年までの相談件数は、県に243件、町に111件となっている。
24年をピークに相談件数は減ってきている。

芝岡 消費者問題は多様化、複雑化し、悪質商法やインターネット関連の被害が、高齢者を中心に多く発生している。
町の消費生活相談窓口の取り組みはどうか。

町長 町内でも被害に遭った方がいる。
被害につながる情報が入れば、防災行政無線などを通じて町民に呼びかけている。
県も相談を受けられる体制をとっている。

芝岡 町民の相談件数は近年どのような傾向となっているか。

引き続き、取り組みを徹底していく。

芝岡 特殊詐欺や悪質商法の被害に遭わないための取り組みはあるか。

町長 悪質電話勧誘被害防止事業で、警告メッセージが流れると同時に録音ができる電話機の無償貸与がある。現在7台の割り当てだが、拡充も県に働きかけていく。

消費者教育推進法
消費者が自らの利益を守るために自主的かつ合理的に行動できるように、消費生活に関する教育や啓発活動を推進することを目的として制定された法律。



消費者問題出前講座(7月2日老人福祉センター)

お薬手帳は活用できて いるか

芝岡みどり議員

発行・活用とも徹底したい

平井病院事業管理者

芝岡 岩美病院でのお薬手帳の発行と活用の現状はどうか。

芝岡 ジェネリック医薬品の普及率促進に取り組んでいるか。

病院事業管理者 独自に1100冊を発行し、登録患者は2000人おられる。
活用については、受付時に提示してもらい、診察にあたり医師、看護師、薬剤師が確認する。
入院時にも服用薬の確認に活用している。

病院事業管理者 医師と薬剤師で構成する薬剤審議会を基盤を設け、採用品目を検討し積極的に取り組んでいる。

芝岡 薬の処方履歴や副作用歴、アレルギーの有無、過去の病気など記入ができ、緊急時にも役立つ。町民への周知、啓発はできているか。

病院事業管理者 ポスターによる啓発や職員による呼びかけなどで所持の勧奨をしている。

施政方針の取り組みで町の農業を持続できるか

田中克美議員

細かく施策を示したい

榎本町長



田中克美議員

田中 全国町村会が発表
した、農業・農村政策の
在り方の提言を、どう受
け止めているか。

町長 都市・農村共生社
会の創造ということで、
大いに共感する。

田中 提言では、水田農
業において、規模拡大に
よる大規模農業者への農
地集約を、無秩序に進め
ていくことは、地域の働
く場を喪失させ、農村人
口の減少を加速させるこ
とが懸念されている。
どう考えるか。



草刈り作業風景（岩井）

町長 都市、田舎という
観点から、全国の全体的

なかかわりであり、提言
を無視したり、ないがし
ろにする考えではない。

田中 施政方針の中で、
「持続可能な農業経営と
するため、農地中間管理
事業による規模拡大、農
用地の集団化、新規参入
の促進等農用地利用の効
率化、高度化を推進し生

産向上に取り組む」と述
べているが、国の施策を
そのまま受け入れるので
はなく、町の実態に合っ
た政策を進めるべきでは
ないか。

町長 施政方針で示した
部分は、国が誘導しよう

とする農業振興施策にと
どまっていることは、反
省している。
国・県の助成を得なが
ら必要な対策をとると
もに、兼業とか退職後の
就農への誘導策など、示
していく必要がある。

鳥取市との連携中核都市圏に 加わるべきでない

田中克美議員

しっかりと情報をとり、対応 したい

榎本町長

田中 連携中核都市圏を
形成するためには、周辺
自治体が連携協約を結ぶ
必要がある。
自立の町づくりに努力
している本町は、加わる
べきでない。

町長 町の自立を担保す
る方向で対応する。

田中 鳥取市を核とした
連携中核都市圏が形成さ
れた場合、市と町とは形
式的には対等とされるが、

事実上は、支配・従属の
関係になる恐れがある。

町長 支配従属の関係が
起こらないように、町の独
自性が損なわれたり、侵
されたりすることのない
よう、協約を見きわめな
がら、注視していきたい。

田中 連携協定を結ばな
ければ、鳥取市がいくら
望んでも、中核市にはな
るけれど連携中核都市に
はなれない。

加わらないという方向
で頑張ってほしい。

町長 中核拠点都市につ
いて、しっかりと情報をと
りながら、対応を考えて
いきたい。

その他質問事項

日米防衛協力指針及
び平和安全法制と自治
体の協力規定について

健康マイポイント事業の充実を

宮本純一議員

魅力ある事業にしたい

岡島健康対策課長



宮本純一議員

宮本 健康マイポイント事業は、介護・疾病予防の新規事業だ。意見・問い合わせは。

健康対策課長 はがき、応募券の問い合わせがある。

宮本 意欲をくじかせない対策は。

健康対策課長 今年度の様子を見ながら、魅力のある事業にしたい。

宮本 散歩など楽しく健康づくりができる岩美ウォーキングマップが作成できないか。

健診受診率向上を図れ

宮本純一議員

個別勧奨・休日健診の充実に努める

橋本住民生活課長

町長 自治会や健康推進員の力を借り、地元から起こってくるように、働きかけた。

宮本 特定健診受診率の向上をめざしながら、26年は35・2パーセントだった。受診率向上の取り組みはどうか。

住民生活課長 26年度の受診率では、40・50歳代が低く、仕事の影響と分析した。

広報いわみなどの案内はがきや電話による個別勧奨や、休日健診を27年度は設定した。全国健康保険協会と連携し、魅力のある健診にし、受診率向上につなげたい。

宮本 健康診査、特定健診の結果表を、わかりやすくできないか。

住民生活課長 システム改修が必要で、今後協議していく。

宮本 血糖検査に2種類あり、体調管理にはヘモグロビンA1cのほうが空腹時血糖値よりもわかりやすく、管理しやすい。

国保特定健診にヘモグロビンA1c検査を入れるはどうか。

住民生活課長 国の基準どおり*空腹時血糖検査とヘモグロビンA1c検査を併用実施としている。

岩美病院の医師からも問題は無いとの回答を得ている。

宮本 特定保健指導は、各種健康診断結果をもとに、健康づくり、介護予防事業を行うものだが、指導を受ける割合が低い。要因は何か。

住民生活課長 通院中や仕事が多忙で、低い。

宮本 指導を受ける割合が低い背景に人員不足はないか。

健康対策課長 保健師2名、管理栄養士1名で対応している。

必ず何らかの形で該当者に連絡をとっている。

空腹時血糖検査とヘモグロビンA1c検査

空腹時血糖検査は血液の中にどれくらいの糖があるかを調べる検査です。

これにより、空腹の状態、血液のなかに糖の量がどのくらいあるかがわかります。

ヘモグロビンA1c検査は血液の中のヘモグロビンのうち、糖と結合しているヘモグロビンA1cの割合を調べる検査です。

これにより、過去1〜2か月間の血糖値の平均がわかります。基準値より高めであれば、「健診前の1〜2か月、血糖値は高めに推移していた」という目安になります。

その他質問事項

すこやかセンター駐車場について



ラジオ体操もマイポイントの対象になります

岩美高校の

魅力アップを期待

コーディネーター2名を

3年間配置



左から片山さん、島本さん、尾室校長、榎本町長

岩美町の

景色に感動

片山じゅりさん

6月に着任した地域おこし協力隊の片山じゅりです。出身は兵庫県です。

岩美高校魅力化コーディネーターとして、広報を

担当しています。

趣味は写真撮影で、よくカメラを持って岩美町内を散策しており、出かける度に、見たことの無い岩美町の景色を見つけては感動しています。

特技は、小学校から高校

まで続けていた空手です。

(ただし、瓦は割れません。) 社会人経験もまだまだ浅い私が、岩美高校魅力化コーディネーターとしてできることは何だろうか?と悩み考えながら、手探りで活動する日々です。

底なしの好奇心と行動力を生かし、岩美高校から学校の魅力や町の魅力を全国に発信していきます。よろしく願います。

岩美町の大ファン

島本 理代さん

7月1日より地域おこし協力隊の「岩美高校魅力化コーディネーター」として着任いたしました島本理代と申します。島根県松江市から参りました。

3年前に友人と訪れたのがきっかけで、以来すっかり岩美町の大ファンに。

今後の主な活動としては、高校の魅力化・活性化、地域と高校の密接なつながりの構築、生徒数増員のための広報、となります。付随して、進路相談の分野でも活躍の場を頂きます。

岩美町の未来を担う生徒さん達の、無限の可能性を引き出し導くお手伝いが出来たら嬉しく思いま

す。

これまでもこれからも、岩美町への愛は誰にも負ける気がしません。岩美高校の魅力や、岩美町の素晴らしさを、自分の持てるすべての力で全国、全世界に発信して参ります。応援よろしく願います!

夢を語る岩美高へ

尾室真郷校長

将来へ繋がる必要な地域創生には、地域を活かした豊かな学びの創出により、子どもたちの地域への愛着を育み、地域の将来を担う子どもたちを育成することが重要だと良く耳にします。

岩美高校は県立学校ですが、岩美町にはなくてはならない学校であります。昭和23年の創立から今年で67年を迎えますが、地域の人々に常に支えられてここまで成長してきました。そしてこの度、岩美町の

おかげで、2名の「岩美高校魅力化コーディネーター」を本校にお迎えすることとなりました。このよう

な連携が実現するなど夢にも思っておりませんでし

た。これにより現在の教育活動に加え、わくわくするような新しい試みを期待しています。学校を核として地域住民の方々の参画や地域の特色を活かした事業を展開することで、町全体を、高校生と一緒に活性化していきたいと思っております。そのためにも、岩美高を地域の方々により知っていただくため、分り易く優れた発信を皮切りに、地域の方々を招き入れる様々な事業を展開して開かれた高校にしたいと思っております。

また、学校と地域とのつながりにより、岩美町の豊かな地域資源を活かした豊かな学びを実現したり、子どもたちの岩美町への愛着をさらに高め、近い将来、地域の担い手になりたいと語る生徒の出現を心待ちにし、将来岩美町へ貢献できたらと思っております。

編集後記

全国議長会主催の議会広報クリニックに、3月定例会を掲載した123号を提出し、講師の講評を受けてきました。神輿が石段を下る表紙写真を、ピントに甘さがあったにもかかわらず「迫力ある」と評価していたいただきました。田後の男性陣の真剣さの賜物です。

町民の声を届ける裏表紙の記事も評価されました。今号の岩美高校に関する記事も、岩美の町づくりに資するものだと思います。

もちろんアドバイスもありました。今号から改善した点もあります。気が付かれたでしょうか。

◎

議会だより調査特別委員会委員

議長	船本 祥一
副議長	柳 正敏
委員長	田中 克美
副委員長	芝岡みどり
委員	日出嶋香代子
委員	田中 伸吾
委員	川口 耕司
委員	宮本 純一
委員	杉村 宏
委員	寺垣 智章